

～親子で秋キャンプ！～



平成27年11月14日～15日 神奈川県立愛川ふれあいの村

11月14日(土) 1日目

小雨の降る中、愛川ふれあいの村の主催事業『親子で秋キャンプ！』を開催しました。17家族55名の参加者が集まり、はじまりのつどいを開始！今回の参加者は初めてふれあいの村に来た方が多く、緊張している様子でしたが、みんなでゲームをして盛り上がると、表情も心もほぐれてたくさんの笑顔に変わっていきました。



次は『木の名札』作り。ふれあいの村で間伐した木の板に名前や絵などを書いて自分だけの特別な名札を作ります。お家の方に好きなキャラクターを書いてもらい「いいでしょ！」と喜ぶ子どもや、秋らしくモミジなどを描く参加者の方もいました。お昼ごはんの後は選択プログラム、『収穫体験』と『クラフト体験』に分かれます。



『収穫体験』では、村のいも職人の河野職員からさつまいもの話を聞き収穫体験開始！ツルを切り取り、土を落とすために水で綺麗に洗います。滅多に出来ない体験に「もっと洗いたい！」と、子どもたちは楽しそう。収穫体験の後はおやつに焼きいもを食べます。焼きあがるまでの待ち時間でさつまいものいも版を作り、赤・緑・黄三色の鮮やかな食紅インクで白紙を綺麗に彩ります。全員のいも版が完成したタイミングで焼きいもも出来あがりました。焼きたてのいもはアツアツのホクホク！大人も子どももみんな「良い匂い～」「甘い！」と大絶賛。



『クラフト体験』は、まず材料となる自然物探しから。カラフルなカップパに身を包み、雨の中村内を楽しそうに散策を始めます。子どもたちは本当に発見の名人！大人たちが見逃してしまうようなものも見つけ出し「これなーに？」「また見つけたよ」と教えてくれます。色々な物が発見できるその目線には本当に驚かされました。集めた自然物はクルミやドングリ、様々な形をした木の枝など。これらを写真たての縁に付け、世界に一つだけのオリジナル写真たてを作ります。みんな思い思いに写真たてを飾っていき、最後は出来上がった写真たての展示会を行いました。「こんなにたくさん付けたんだ！」「すごいね♪」など沢山の感想が飛び交いました。



夕食の後はナイトプログラムです。集会室でレクリエーションを行いました。踊って跳ねて大いに笑い、気付けば額に汗がにじむほど。最後は暗がりのなかキャンドルに火を灯し、班の皆でこの火を眺めます。その暖かい火に何を感じたのでしょうか。穏やかな時間が流れ、沢山の家族と過ごした1日を振り返っているようでした。



11月15日(日) 2日目

2日目、レクの後すぐに就寝した子どもたちは朝から元気いっぱい！朝ごはんをしっかりと食べます。その後は使った部屋やトイレなどのお掃除タイム。「わたしがやるよ」「ぼくもやる〜」子どもたちもモップやホウキを使い、自分で使ったところは自分たちで片付けていきます。次はメインプログラムの『アウトドアクッキング！』メニューは秋ならではの食材を使った『きのこの炊き込みご飯』『豚汁』『みたらし団子』。まずは全員でみたらし団子をこねていきます。ぷにぷにしたその感触に「ほっぺみたい！」とつつく子どもの姿も見られました。



次は火の係と食材係に分かれ、それぞれ説明を聞いてクッキングスタート！火の係は絶対に成功する火お越しを伝授され「ほんとだ！ついた！」と驚きの表情を見せてくれました。食材係は作り方と食材の説明を受けクッキングを始めます。食材にはふれあいの村で作ったさつまいもと味噌も使い「この味噌、美味しいですね！」と味見する家族も。中には初めて包丁を使ったという子どももあり、貴重なチャレンジの場ともなりました。



完成した炊き込みご飯や豚汁に「良い香り！」「さつまいもが甘くておいしい！」と皆さん満面の笑顔。気付けば青空が広がっており、様々な家族とおしゃべりしながらの、とても楽しく美味しいクッキングを、より輝かせてくれました。今回は五感を使い、色々な秋を感じるプログラムを行いました。選択プログラムはもちろん、雨の秋そして晴れの秋も実感できたのではないのでしょうか。存分に秋を満喫し、大人も子どもも楽しんだキャンプとなりました。この度は、親子で秋キャンプにご参加いただき、誠にありがとうございました。文責：天野